お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		メタルハライドランプ・ＨＱＩランプ用器具の場合、ガラスカバーを外したり、ガラスが破損したまま使わない。（ランプが破損した場合けがの原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	ランプは直接素手で触れない。（汚れたまま点灯すると破損してけがの原因）
	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）		ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
禁止	点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しない。（皮膚炎症や高輝度のため目を痛める原因）	厳守	ランプの外管バルブが割れた場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。（紫外線による障害や、破損・落下によりけがの原因）
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）		明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行なう。
	器具表示の指定ワット（Ｗ）数を超えるランプは使用しない。（過熱して火災の原因）		ランプが点滅を繰り返したり正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。（火災の原因）

ランプ交換・器具の清掃　—⚠警告 電源スイッチを切ってから行なう。（感電の原因）

形名	適合ランプ
ＪＳ３０００	ハロゲンランプＪＤ１１０Ｖ２５０Ｗ（口金Ｅ１１）
ＪＳ３００１	ハロゲンランプＪ　１１０Ｖ３００Ｗ（口金Ｒ７Ｓ）
ＱＳ２０１４ ＱＳ２０１７	ＨＱＩ－Ｅ１５０Ｗ（口金Ｅ２６）
ＱＳ２０１５	ＨＱＩ－ＴＳ１５０Ｗ（口金Ｒ７Ｓ）
ＱＳ２０１６	ＨＱＩ－ＴＳ２５０Ｗ（口金Ｆｃ２）

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触れない。高温のためやけどの原因
○ランプはソケットに確実に取付ける。不完全な取付けは落下の原因

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない。火災・感電の原因

清掃
○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、柔らかい布にぬるま湯または石けん水をつけてよく絞ってふきとってください。
○反射板の汚れは、柔らかい布でふきとってください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

連絡先　〒247－0056　神奈川県鎌倉市大船５－１－１
（施設照明営業課）　TEL（0467）41－2728
（品質保証部サービス課）　TEL（0467）41－2773

E766Z247H20

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

三菱ＨＩＤ器具

屋外投光器

形名 ＪＳ３０００，ＪＳ３００１，ＱＳ２０１４，ＱＳ２０１５，ＱＳ２０１６，ＱＳ２０１７

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。）（火災の原因）	禁止	安定器の二次側を器具に接続しないまま電源を入れない。（電線が焼損し火災の原因）
	器具の照射面は高温のため近接限度内に可燃物を近づけない。（火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。
	電源線は器具の外郭に直接触れない。（過熱して火災の原因）		取付方向指示のある器具は、本体表示及び取扱説明書に従い施工する。（指定以外の取付けは、器具の落下・感電の原因）
	器具取付けの際は電源線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）		アース工事は、電気設備の技術基準に従い行う。（感電・火災の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

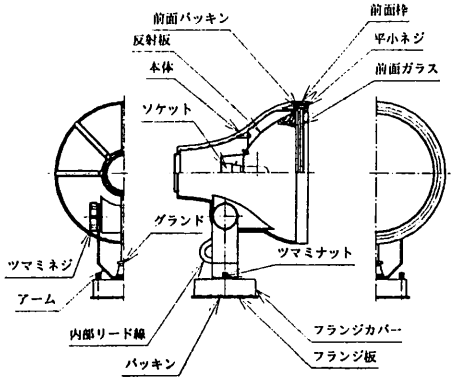
禁止	高温（３５℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動のある場所で使わない。（落下・感電の原因）	禁止	器具の外郭が造営材・ダクトに触れない。（火災・感電の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
	風呂場など湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）	厳守	使用地域の周波数に合った器具を使う。（火災の原因）
	器具を密集して取付けない。（１０㎝以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因）		電源タップ付安定器の不要口出線の先端は一本毎に確実に端末処理する。（火災の原因）
	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）		定格ランプ電力（Ｗ）、電源電圧（Ｖ）、周波数（Ｈｚ）に適合した安定器を使う。（火災の原因）

お願い

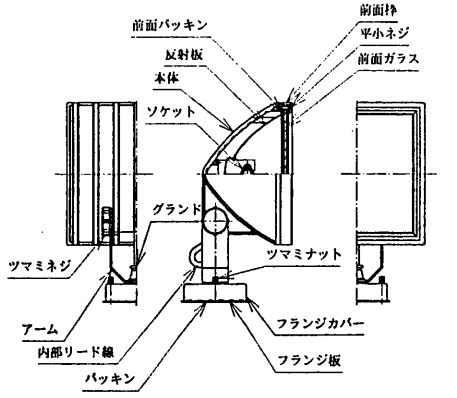
■器具の周辺温度が５～３５℃の範囲で使用してください。
■植物のそばで使用しないでください。（植物育成障害となることがあります。）
■退色を避けたい場所には使用しないでください。（被照射物が紫外線により退色、劣化することがあります。）

■各部のなまえ

丸形投光器



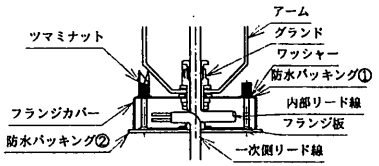
角形投光器



■器具の取付け方と電線の接続のしかた

フランジ付き器具の取付け方と電線の接続のしかた

① 器具の取付けピッチは６６．７㎜と８３．５㎜です。
② 器具を取り出してフランジカバー部のツマミナットをゆるめ、防水パッキン①とワッシャーをはずしてください。
③ フランジ板をはずしてください。
④ フランジ板に一次側の電線を通してしっかりと取付けてください。取付ける際に防水パッキン②が取付け面とフランジ板の間になるように組付けてください。
⑤ フランジ内の内部電線と一次側の電線を接続してください。
⑥ アース線（赤色）を必ず接続してください。（アースは第３種接地工事を行ってください。）

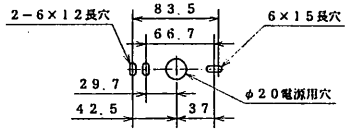


口出線の結線が不完全な場合には、絶縁不良による発熱、火災の原因となります。

配線工事

アース線の結線が不完全な場合には、感電の原因となります。

アース工事



⑦ 接続した電線に絶縁処理を施してからフランジカバー内に収めてください。
⑧ フランジカバーを、フランジ板に取付けてください。
⑨ 防水パッキン①とワッシャーを組付けてツマミナットでしっかりと固定してください。
防水パッキン①とワッシャーを組付け忘れしますと、絶縁低下の原因となり感電、火災の原因となります。

（注）ＨＩＤ器具、ＨＱＩ器具の電源線を送り配線には出来ません。
（注）安定器二次側配線は６００Ｖゴムキャブタイヤケーブル（２ＣＴ）と同等以上の性能を有するケーブルをご使用ください。

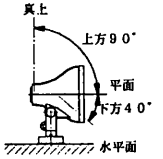
■器具の取付け方向と可動範囲

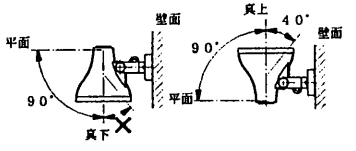
① 安全で長くご使用いただくために取付け方向と照射方向は、下記の範囲内でご使用ください。
指定以外の取り付けを行うと水、水気の侵入による絶縁不良、感電事故の原因となります。

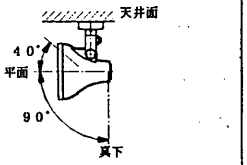
注意

■ 水平面：下の条件で使用できます。　■ 壁面：下の条件で使用できます。　■ 天井面：下の条件で使用できます。

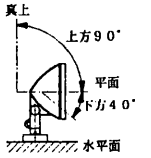
丸形投光器

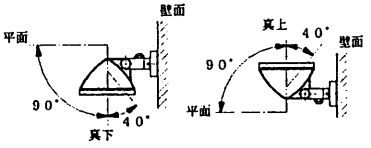


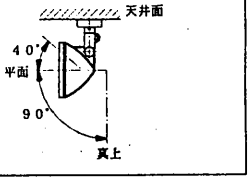




角形投光器

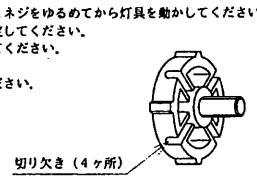


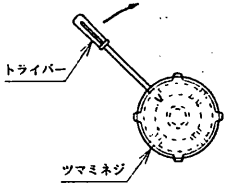




■照射方向の調整のしかた

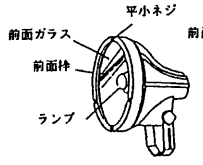
① 上下方向の照射角度をかえるときは、灯具の下方についているツマミネジをゆるめてから灯具を動かしてください。
② 照射方向が定まりましたら、ツマミネジを両側共確実に締付けて固定してください。
締付けには、ドライバーをツマミネジの切り欠きに差込んで締付けてください。
注） 締付けがゆるいと照射角度が変わることがあります。
③ 水平方向の照射方向を変えるときは、本体を目的の方向に向けてください。
注） 水平方向の回転角度は最大で３５０°です。

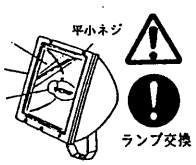




■ランプの取付けかたと交換のしかた

① 必ず電源を切ってから行なってください。
② 必ず器具に適合したランプ（別売）を使用してください。適合ランプ以外のランプをご使用になりますとランプの寿命が短くなったり、器具が過熱して火災等の事故の原因となります。
③ 前面枠の平小ネジをゆるめて前面枠部をはずします。平小ネジをゆるめるときは前面枠の落下を防止するために前面枠部を保持して作業してください。
④ ランプを確実に取付けてください。取付けが不充分ですと、不点灯の原因となります。
⑤ 前面枠部を取付けてください。締付けが不充分ですと浸水の原因となり、絶縁不良、感電事故の原因となります。





ランプ交換

■修理サービス

ご使用中または、定期点検において異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店（工事店）、またはお近くの三菱電機照明（株）営業所にご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名および、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。